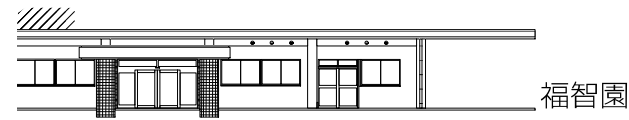


令和7年度 福岡県ノーリフティング  
普及促進事業 実践報告

「二年目の見直し」

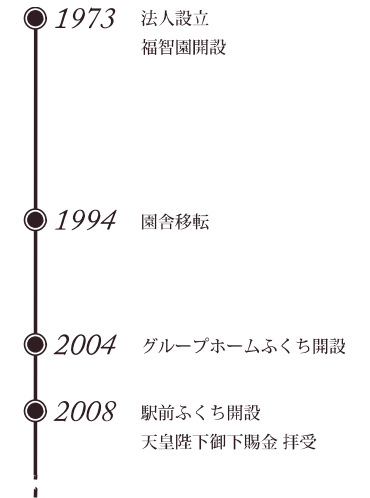
特別養護老人ホーム福智園

特別養護老人ホーム福智園  
定員:100名  
平均要介護度: 3.82



グループホーム  
ふくち

駅前ふくち



もくじ

- 移乗機器の選定
- 基本の見直し
- 風呂場の改装

移乗機器の選定



アイ・ソネット株式会社  
スカイリフトiR



シーマン株式会社  
テイクオフ

課題はたくさんあるものの、最も活発に活動しているトイレ誘導・オムツ外しの活動に注力するため、トイレで使用しやすいスタンディングリフトを導入するために、機器選定を進めた。

2種類を今年度末までに導入予定

## 移乗機器の選定

- 電源/電池管理が不要
- 頑強でシンプルな作り
- 取り回しが簡単

という理由で、シーマン株式会社のテイクオフを8台導入予定

実際に借りて試した結果、「運ばれている感」がない、「自分で立っている」という感覚が、利用者様の意欲を引き出すことを実感。

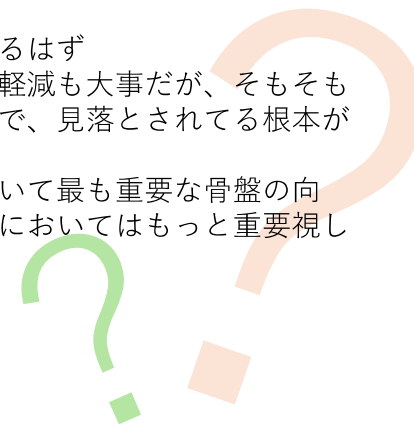
定期的に行っている「居酒屋」イベントのスピノフで「立ち呑み」イベント開催の案も浮上



## 基本の見直し

### 事の発端

- ノーリフティングケアの基本動作として学ぶ重心移動の動作・支持基底面積の考え方は、本当に基本として良いのか？
- その動作ができないシーンが多い
- もっとファンダメンタルな要素があるはず
- 抱え上げないことによる腰への負担軽減も大事だが、そもそも歩き方・日常生活動作の体の使い方、見落とされてる根本があるのではないか？
- ポジショニング・シーティングにおいて最も重要な骨盤の向き・動作についてなぜ介護職の動きにおいてはもっと重要視しないのか？



## 動作基本の見直し

### コシハラ文化の復興

腰が定まる/入ることをよしとする、昔からある日本の身体感覚を取り戻すことが、中長期的に見た時の近道。というか答え。

何より汎用性が極めて高い。また、体型的にも日本人に近い東アジア人に親和性がある。

### 広い面積で触れる

利用者をどう動かすか、ということに重きを置いてしまうと、手で動かしがち。腰に負担もかかるし、優しくない。

広い面積で触れる、という基本さえ押さえおけば、重心運動で動かす等は自然とできてしまう。

## 風呂場の改装計画：背景



### 個浴を導入した結果

- 入浴介助が楽しい
- 利用者様が落ち着いている

→ 機械浴は作業的になりがち  
→ 1対1のケアを進めたい

また現存する機械浴では腰痛の原因にもなる。

→ 全個浴化を目指したい

以後福智園では、この2点を基本とする

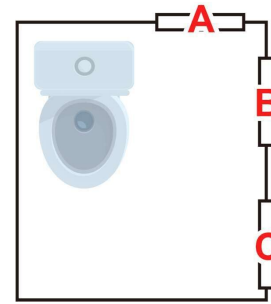
## 風呂場の改装計画：現状

### 設計士の選定・打ち合わせ開始

改装となると設計士探しが難しい。

大規模改装・新築でない限り受けない企業が多い。実際2社は現場視察をして見積もり依頼をしたにもかかわらず、音沙汰すらない状態。

## 風呂場の改装計画：補足



例えば、トイレにおいてはAの位置に出入り口を配置するのが最も負担が小さい。転回する必要がなく、必要時間も短くなる。実際にはAの位置に扉があるトイレは少ない。同様に浴槽、脱衣所のベッドの方向についても、転回の考えからも最適化が必要

間瀬樹省「高齢者介護施設における車椅子トイレの扉位置に関する研究～全介助を想定した移乗動作と所要時間の違いについて～」

三好春樹『完全図解 新しい認知症ケア 介護編』講談社

## 今後の課題

- いい基本が決められたので定着させる。
- 風呂場の改装まで実現する。

## まとめ

- テクニックに走らず、基本的な哲学・考え方・姿勢を大切にしていきたい。
- 自然と解決する仕組み、仕掛け、楽しさがなければ継続しない、定着しない。機器選定、“動作の基本”、改装計画もこれに同じ。
- 職員定着、家族評判も良いので、引き続きがんばります。